

今号の内容

第21号

3



つづきあい計画

つづき あい 通信

財政面から活動を支援

知って得する助成金のお話

地域の意見を調査

池辺町「向こう三軒両隣・隣近所でのささえあい」アンケートの取組

高齢者支援の場

認知症 & 予防カフェ「コツコツ」

ちょっとしたお困りごとをお手伝いします

ボランティアグループ ほほえみの会

「つづき あい通信」は、都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」※を推進する地域の取組や、関連情報を紹介する計画情報誌です。

※裏表紙に詳細を説明しています

地域の中で自分でも何かできることはないが、地域に貢献したい、という思いを持ったボランティアさんたちの活動などを紹介します。

ちょっとしたお困りごとをお手伝いしています!



▲ 認知症 & 予防カフェ「コツコツ」



▲ ボランティアグループほほえみの会

病院



知って得する助成金のお話

地域の福祉保健活動をもっと広めたい、又はこれから活動を始めたい、そんな皆さんを後押しする助成金の制度をご存知ですか。知っている方も知らない方も、読んで損の無い「つづき あい」に関する主な助成金についてお知らせします。

その1 都筑区ふれあい助成金

ボランティアグループ、障がい当事者団体、NPO法人などが行う地域福祉推進事業や障がい福祉事業を支援します。

- 【申請受付】年1回(4月※ただし新規立ち上げ区分は12月末まで随時受付)
- 【助成対象団体】横浜市内に活動拠点を置く市民活動団体など
- 【助成対象活動】営利を目的としない、地域福祉推進のための事業 他
- 【助成額】1万円～40万円(ただし食材費・飲食経費での利用不可)
- 【問合せ先】都筑区社会福祉協議会 TEL:045-943-4058



活用区分 「都筑区ふれあい助成金」を使って様々な活動をしています ※5ページに認知症&予防カフェ「コソコソ」を掲載



■要援護者支援

- ・サロン、認知症&予防カフェ、昼食会、送迎
- ・家事、生活支援 など



■障がい者支援

- ・余暇活動、日帰りハイク
- ・手話サークル など



■福祉のまちづくり

- ・子育てサークル
- ・家族会・介護者のつどい など



■健康増進

- ・高齢者体操
- ・施設等を訪問する特技ボランティア(コーラス、手品など) など

その2 「つづき あい基金」助成金

都筑区地域福祉保健計画に定めている目標を実現するために、地域の福祉保健に関する課題解決に向けた活動を行う団体に対して、活動経費の一部を助成しています。

- 【申請受付】年1回(4月)
- 【助成対象団体】・区内に活動拠点を置き、区内を対象地域として活動する団体
・課題の解決や目標の実現に向けて取り組む団体
- 【助成対象活動】・「都筑区地域福祉保健計画」の目標や視点のいずれかが含まれている活動
・地域の現状と課題を踏まえ、目標の実現に向けて具体的に取り組んでいる活動 など
- 【助成額】上限10万円(新たな活動の立ち上げ・既存の活動の拡充)・上限5万円(既存の活動の推進)
- 【問合せ先】都筑区社会福祉協議会 TEL:045-943-4058



※「つづき あい基金」は、都筑区地域福祉保健計画の推進のために地域で実施されるさまざまな福祉保健活動の支援、計画のPR等を目的として、平成18年9月に設置されました。本基金は、都筑区チャリティーゴルフ大会の収益金を主な原資とし、それに加えて、区役所からの補助金、善意銀行からの配分金等で構成されています。

活用事例 「つづき あい基金」助成金を活用した活動をあい通信で取り上げました ※6ページに「ボランティアグループほほえみの会」を掲載

つづき あい通信 第15号

アーモンド♥こども食堂 (北山田の安心できる居場所づくり)

子どもや青少年とその家族のための安心できる居場所!美味しいご飯と一緒に食べて、楽しい時間を過ごし、人と人のつながりづくりの場になっています。



つづき あい通信 第17号

ふれあい大畑カフェ (大畑町公民館で開催)

“おたがいさまの大畑町に!”を合言葉に、認知症になっても住み続けられる地域づくりのため、様々な関係機関が協力し合い、楽しく交流できる居場所を展開しています。



つづき あい通信 第18号

ふれあいウォーク (健康維持・健康増進)

地域と結びつきを持たない定年後のシニアなども気軽に参加でき、季節に合わせたコースをウォーキング!講師を招いたウォーキング講座など、正しい歩き方を学ぶ機会を設けたり、より安全で健康増進につながるウォーキングを広めています。



その他 災害時要援護者支援事業「つづき そなえ」

平成20年度から進めている、災害時要援護者を地域ぐるみで支援する取組の中で、地域の特性に合った災害時要援護者の支援体制づくりの推進など、事業を実施する連合町内会自治会を支援します。

- 【助成対象団体】連合町内会自治会
- 【助成対象活動】地域における災害時要援護者の支援体制づくり等を推進する事業
- 【問合せ先】都筑区福祉保健課事業企画担当 TEL:045-948-2344



■具体的な地域の取組

- ・要援護者の把握、名簿の作成
- ・要援護者マップの作成
- ・要援護者の訪問、防災グッズの配付
- ・広報紙の作成
- ・要援護者支援ボランティアの募集
- ・防災無線によるネットワークづくり など

顔と顔の見える関係づくり

「つづき そなえ」では、いざという時に備え、連合町内会自治会ごとに、地域の特性にあった災害時要援護者の支援体制づくりを推進しています。

要援護者と地域の方々の日常からの顔と顔の見える関係づくりによる要援護者の支援体制の強化をめざします!



「向こう三軒両隣・隣近所でのささえあい」アンケートの取組

池辺町では平成30年6月、地域住民に向けたアンケート「向こう三軒両隣・隣近所でのささえあい」を実施しました。このアンケートを行うことになったきっかけをはじめ、アンケート内容の検討から結果の集計・報告まで、どのように地域の中でこの取組が進められてきたのかを紹介します。

きっかけ

池辺町では「つづき そなえ[※]」の取組として、無線を活用した要援護者の見守りネットワークを構築しています。また、要援護者宅への訪問活動を行っている民生委員と、各自治会の無線担当者との連携を深める合同研修会などを定期的に開催しています。

そのような池辺町で、今後もより安心して生活していくため、**地域住民が何を求め、何を地域に期待しているのか**についての意見を求め、今後の地域活動の検討に役立てようと、アンケート調査を実施することにしました。

※「つづき そなえ」とは、災害時に要援護者を支援するための平常時からの見守り活動です。

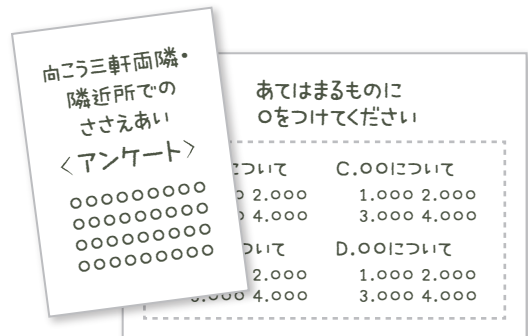


池辺そなえ委員会

この池辺そなえ委員会は、池辺エリアの連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員などのメンバーで構成されています。

スケジュール

| | |
|-----------------------|-------------------------|
| 平成29年 秋 | アンケート実施に向けて、設問内容の検討スタート |
| 1~2か月に1回の頻度でそなえ委員会を開催 | |
| 平成30年 6月 | アンケート完成・配付 |
| 7月 | アンケートメ切・集計 |
| 8月 | 地域懇談会において速報・意見交換 |
| 10月 | アンケート集計結果概要報告 |



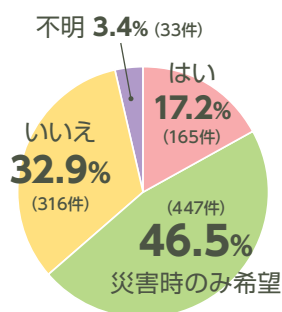
調査対象3,164世帯 回収率約30%

集計結果 (抜粋)

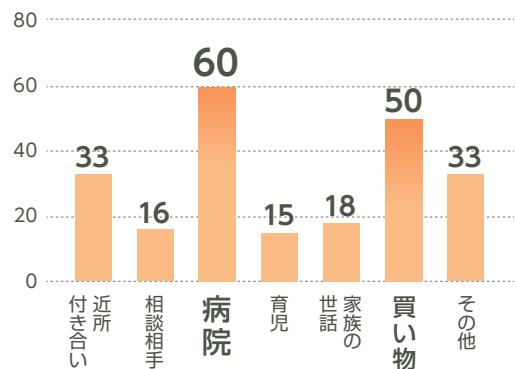
日常の見守り・声かけ援助を望むかについては、はいが約17%、いいえが約33%、災害時のみ希望が46.5%でした。

また、生活するうえでの困りごとがあると答えた方17%の内訳として、病院へ行くのが大変や買い物へ行くのが大変の2項目が50件以上ありました。

【日常の見守り・声かけ希望】



【生活するうえでの困りごと】



今後に向けて

池辺町連合自治会
増尾会長

アンケートで頂いたご意見を参考に、今後の地域活動の検討を進め、池辺エリア全体が一丸となって、これからの活動に取り組んでいきたいと思ひます。



池辺地区社会福祉協議会
小林会長

池辺サロンなど様々な福祉保健活動の場がありますが、今後もより一層、地域の皆さんが暮らしやすい池辺になるよう、活動を続けていきたいと考えています。



認知症&予防カフェ「コツコツ」

毎月第3日曜日の午後、美味しいコーヒーや時には本格お抹茶を頂きながら、地域包括支援センターの職員や医師など専門家からのお話を聞いたり、地域の方を招いて音楽等のイベントを開催しています。

カフェをはじめたきっかけは、大好きな隣人の家族が認知症を発症したこと。「たとえ認知症になっても（ならなくても）、ずっとここで一緒に暮らし続けたい」という想いを胸に、地域のボランティアが立ち上がり、都筑区の認知症&予防カフェ2号店としてオープンし、4年半が経ちました。開催数は44回・参加者累計は2061名を超えています。



認知症&予防カフェ「コツコツ」

【開催日時】毎月第3日曜日 13:30~15:30
 【場所】北山田小学校コミュニティハウス
 【参加費】200円
 【お問合せ】045-515-1810 (横尾)

ある日の「コツコツカフェ」

- ① 始まりのベル (チリンチリン) 本日の催し
- ② 認知症認定看護師・佐藤さんのお話
- ③ おしゃべりタイム
- ④ 大人のためのお話会 (棒人形と紙芝居)
- ⑤ 最後に「今日の日はさようなら」をみんなで歌い「またお会いしましょう」



協力：都筑警察署生活安全課、ケアマネジャー、地域ケアプラザ職員、都筑区認知症サポート医、区役所高齢・障害支援課職員
 内容：マンドリン五重奏、手品、チェロアンサンブル、合唱、紙芝居、フルート演奏、ロコモ体操、ディスカッション、謡曲、認知症ビデオ鑑賞



認知症について理解のあるスタッフ達がさりげなく見守る、ほのぼのとした雰囲気が自慢です。「楽しかった!」「また来ます」の言葉が何より嬉しいですね。

啓発活動も行っています!

地域の小中学校へ出向き「認知症サポーター養成講座」を行ったり(劇団コツコツ)、市長とのティーミーティングに参加し当事者の声を直接届けるなど、認知症&予防カフェの運営に留まらず、広く認知症の啓発活動を行っています。



認知症サポーター養成講座



市長とのティーミーティング

ちょっとしたお困りごとお手伝いします！

ボランティアグループほほえみの会

「ボランティアグループほほえみの会」は、葛が谷地域ケアプラザのエリアにおいて、生活の中のちょっとしたお困りごとのお手伝いをする、ボランティアグループです。

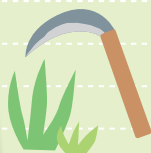
高齢化が進み、なかなか身の周りのことが思うようにならず困りごとが多くなっていることを耳にするようになったことが発足のきっかけです。“自分たちの地域の中で何かできることをして、少しでも地域に貢献したい”という思いで活動しています。

毎月の定例会で、事務局である葛が谷地域ケアプラザから依頼内容を聞き、メンバーの中で担当と活動日時を決めています。

和やかな雰囲気できれいさあいあいと行われる定例会では、活動の中で困ったことや気になったことを共有し、みんなで相談し解決しています。

今回の担当を決めましょう！

〇〇さんはどうかしら？



主な依頼内容は、庭木の^{せんてい}剪定や草取り、自宅の掃除、病院や買い物の付添いです。

利用者からは後日「とてもキレイにしていたいただいて、本当に助かりました」「お掃除だけでなく、お話もできて楽しかった」などのお声をいただきます。

“自分のできること”を
“無理なくできる範囲”で
活動しているので、
続けられます♪



病院



付添いをしてもらい、
助かっています。



家のお掃除のお手伝い



「ありがとう」の一言が私たちの
やる気につながっています。
最近ではメンバーも増えて、
ますます地域の助け合い活動が
広がっています！

ほほえみの会では、ボランティアを募集しています！

【連絡先】横浜市葛が谷地域ケアプラザ 担当者 明間 (TEL: 045-943-5951)



お知らせ



障がい児・者のための
外出相談窓口

都筑区移動情報センター

障がいのある方が楽しく安全に外出するためには、目的や行先、障がいに合わせたサポートが必要になります。都筑区移動情報センターでは、外出に関する相談や、利用できるサービスの情報を提供しています。

みちな活動事例



養護学校に通う知的障がいのある小学2年生の相談。
朝の8時に、自宅から学校の送迎バスポイントまで送ってくれる人がいないかという相談をいただきました。
なかなか見つかりませんでした。都筑区社会福祉協議会にボランティア登録をされているご近所の方に相談したところ、曜日別にお二人の方が付添いをしてくださることになりました。
ご家族からも「今ではすっかり慣れて、笑顔で登校しています。」との言葉をいただきました。

ボランティアさん からのコメント

ボランティアを始めて約1カ月になります。

社会から必要とされ活動できる喜び、人の役に立てる事がとても嬉しいです。

活動は自分の幸福であり、他人の幸福にも繋がっている気がします。

この活動は、心にも体にも良い作用が働いている今日この頃です。

移動情報センターには、「子どもが1人で登校できないので付き添ってほしい」、「病院や買い物と一緒に行ってほしい」といった相談が寄せられます。

近隣にお住いの方のために、少しの時間なら！週1日ならできるかも！という方でも構いません。ガイドボランティアとして活躍してみませんか？

※『ガイドボランティア』とは障がい等により、屋外での移動が困難な方が外出する際に付き添うボランティアのことで、活動に対し奨励金が支払われます。

【お問合せ】 都筑区社会福祉協議会 TEL:045-943-4059 FAX:045-943-1863
メール: idounokakehasi00@yokohamashakyo.jp



第19回 都筑区チャリティーゴルフ大会より 「つづき あい基金」へ、寄付をいただきました！

都筑区にゆかりある個人・団体・企業が参加された「第19回都筑区チャリティーゴルフ大会」からの寄付金を、同大会実行委員より、都筑区社会福祉協議会善意銀行に贈呈いただきました。都筑区地域福祉保健計画推進のために、「つづき あい基金」等へ活用させていただきます。

【開催日】平成30年9月6日(木)

【参加者数】188名 【協賛】60者・社 【寄付金額】60万円



「つづき あい基金」 助成金をご活用ください

都筑区地域福祉保健計画を推進する活動を応援する「つづき あい基金」助成金制度があります。次回の募集は平成31年4月を予定しています。詳しくは都筑区社会福祉協議会までお問い合わせください。

【お問合せ】 都筑区社会福祉協議会 TEL:045-943-4058 FAX:045-943-1863 <http://www.tuzuki-shakyo.jp/>



新しい計画 (第4期都筑区地域福祉保健計画) づくりに向けて



都筑区地域福祉保健計画とは？

誰もが住みなれた地域で安心して暮らせることを目指して、区民、自治会町内会をはじめとする地域のさまざまな団体・企業・区役所と一緒に地域の課題解決に取り組み、人と人との「であい ささえあい わかちあい」を通じて地域をより良くしていく計画です。区全体の計画（区計画）と連合町内会・地区社会福祉協議会エリアごとの計画（地区別計画）があります。

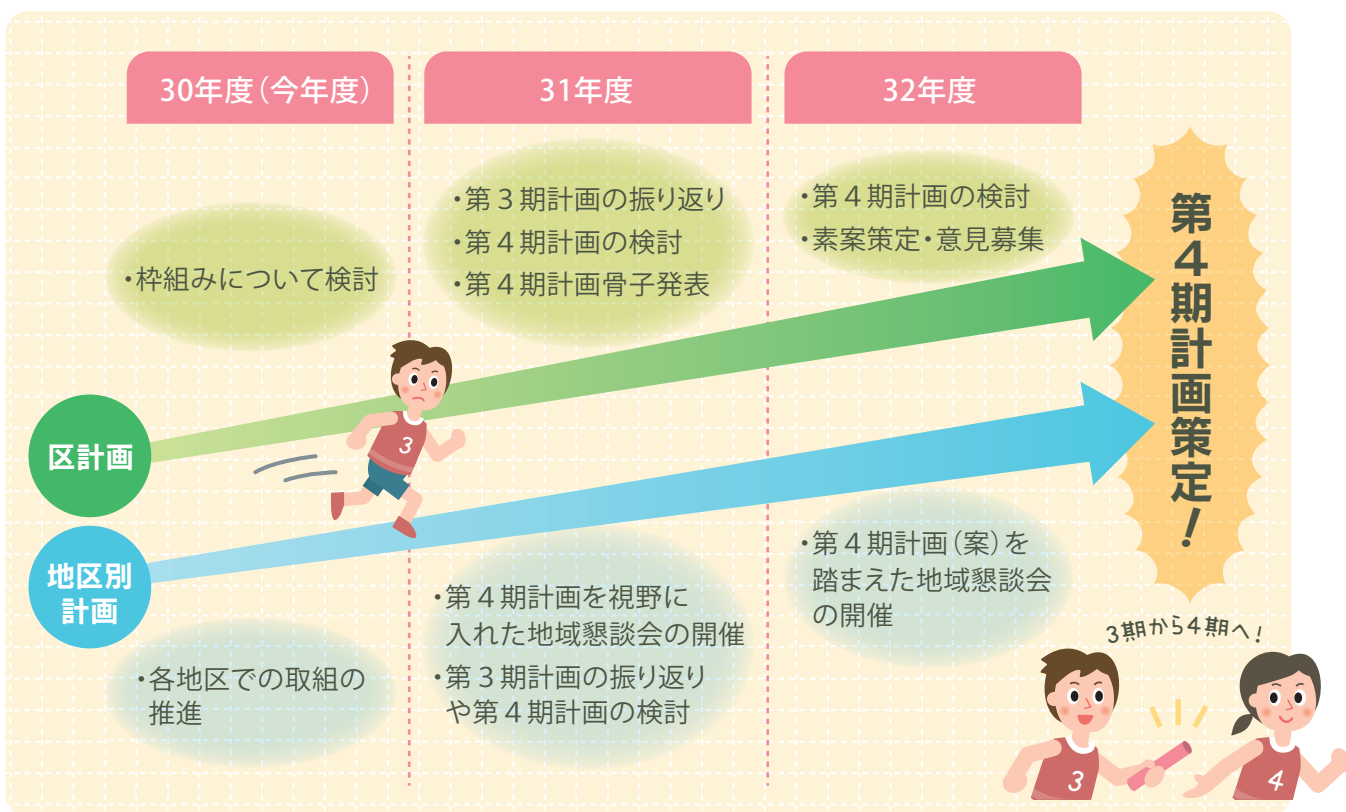
次の計画（第4期都筑区地域福祉保健計画）策定に向けて

平成28年度からスタートした第3期都筑区地域福祉保健計画も、今年は3年目の「中間点」に到達しました。「地域懇談会」で出てきた意見をもとに、地域のさまざまな方たちが取り組んだ結果、この3年間で地域の福祉保健に関する新たな取組もたくさん生まれ、また従来からの取組がいつそう充実できたという地区もありました。

都筑区地域福祉保健計画は5年ごとに生まれ変わります。地域の方たちの熱心な取組により、着実な進歩を遂げた第3期計画を踏まえて、これからも地域の方たちの力になるような新しい計画づくりに着手していきます。

新しい計画づくりは、下の図のように進められていきます。

計画策定スケジュール (予定)



毎年開催される地域懇談会でも、今後は新しい計画づくりに向けた意見交換が行われていく予定です。ぜひ、新しい計画づくりを応援してください!

